

大会要項

J F A 第 4 8 回 全日本 U-12 サッカー選手権大会 兼 函館東ライオンズ旗争奪第 5 2 回函館ジュニアサッカー大会

- 1 開催 **北海道サッカー協会ガイドライン・各ガイドラインを踏まえ、安全安心を第一優先に大会を行う。**
- 2 主旨 函館の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2024年全日本少年サッカー大会函館予選とする、日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの情熱を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。
- 3 名称 J F A 第 4 8 回 全日本 U-12 サッカー選手権大会北海道大会兼函館東ライオンズ杯争奪兼第 5 2 回函館地区ジュニアサッカー大会
- 4 主催 函館地区サッカー協会
- 5 主管 函館地区サッカー協会 4 種委員会・各会場担当チーム
- 6 期日 2023年4月20日（土）～10月5日（土） 但し、運営的に困難場合は、その日程を変更する場合がある。
- 7 会場 各スポーツ施設・小学校等グラウンド
- 8 上位チーム
大会上位3チームは全日本少年サッカー大会道南ブロック大会への出場権を与える。
道南ブロック大会 9月21日（土）苫小牧地区
全道大会 10月12日（土）～14日（月祝）室蘭開催
全国大会 12月25日（水）～29日（日）鹿児島
- 9 参加資格
 - ① 「参加チーム」は、本年度実施年度に（公財）日本サッカー協会第4種及び女子に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること（準加盟チーム含）。
 - ② 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は、年間を通して継続活動していること。
 - ③ 合同チームの参加を認める、但し合同で構成されたチームは今大会での2次予選1部リーグ（代表決定戦リーグ）には参入できない。
 - ④ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。女子加盟登録チームに属する選手は、4種年代であること。また、U-6の選手は出場できない。
 - ⑤ 第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一クラブ内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
 - ⑥ 引率指導者は、「参加チーム」を掌握指導する責任のある指導者であること。また、うち1名以上が日本協会公認コーチ資格（D級以上）を有すること。公認コーチ資格者が職務・公務等で引率ができない場合はかならず大会運営事務局まで連絡をすること。
 - ⑦ 「参加チーム」は必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。
 - ⑧ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。

⑨ 「参加チーム」の構成は、選手8名以上16名以内、引率指導者4名以内とする。

10 帯同審判員

- ① 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員4級以上を帯同させること。
- ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。なお、監督が帯同審判を兼ねてもよい。また、参加申込書に記載されていない他の審判員(資格保有者)、指導者、保護者等が審判業務を行ってもよい。

11 複数登録

- ① それぞれの登録チームごとにD級以上のライセンスを持った指導者がいること。
- ② それぞれの登録チームごとに4級以上の審判資格を持った指導者がいること。
- ③ 5・4年生のみで構成されたチームの参加を認める。
- ③ 複数チーム参加の場合、同ブロックには入れない。
- ④ 複数登録チームの大会期間中の移籍について。複数チーム登録の同大会期間中の同一チーム内の移籍については1次リーグ終了後2次リーグ開始時に認める。

12 選手登録

- ① 大会期間途中でのケガ・病気による選手変更は全日本少年サッカー大会の要項に準ずる。
- ② 大会開始後の他チームへの移籍は、特別な理由がない限り同大会期間中での移籍先での出場は認めない。(4種委員会で協議)

13 大会形式

- ① リーグ戦方式とし、1次リーグ・2次リーグ・3次ラウンドを行う。1次リーグの成績で2次リーグブロックを構成し、2次リーグでの最上位ブロックの上位3位までがJFA 第48回 全日本U-12サッカー選手権大会道南ブロック予選への出場権を得る。
- ② 1次・2次リーグでの順位決定の優先順位は次のようにする。
勝点(勝-3、分-1、負-0) 勝ち点と同じ場合は以下の方法で順位を決定する。
 - (1) 当該チーム間の対戦成績
 - (2) 当該チーム間の得失点差
 - (3) 当該チーム間の総得点数
 - (4) ブロック内の得失点差
 - (5) ブロック内の総得点数
 - (6) 当該チームでのPK戦
 - (7) 予選リーグで棄権したチームの扱いについて1試合でも棄権した場合は、そのチームとの試合結果を、試合の実施・未実施に関わらず、全て0-3とする。

14 競技規則

本年度(公財)日本サッカー協会制定の「8人制サッカー競技規則」による。

15 競技のフィールド

- ① フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)は50mとする(マウンドがない芝会場を優先する。)
- ② その他ペナルティーエリア等の長さに関しては、8人制サッカールールに準ずる。
- ③ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
- ④ 自由な交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ。)

16 試合球

全日少公式4号球（公認球）を持ち寄りとする。

17 競技者の数および交代

- ① 試合に出場する8名の競技者を含めて、試合に出場できる人数は16名以内とする。
- ② 競技者の数：8名の競技者（うち1人はゴールキーパー）が試合に出場する。
- ③ 一方のチームが8名に満たない場合は、当該チーム間で合意のもと試合を開始する。
- ④ 交代要員は、試合に出場していない8名以内。（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場 することができる）
- ⑤ 交代の手続き
 - ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - ・交代について、審判の承認を得る必要はない。
- ⑥ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上でアウトオブプレーになった時に入れ替わることができる。（交代で退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点から出なければならない。代わりに入るゴールキーパーは交代ゾーンからフィールドに入る。）
- ⑦ ゴールキーパーとフィールドプレイヤーの入れ替えは、ボールがアウトオブプレーになった時に審判に通知し、主審の許可を得て入れ替えを行う。

18 競技者の用具

- ① 競技者の用具については、（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定の暖和に従うものとする。
- ② 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。（背番号の参加申し込み以降の変更は認めない）
- ③ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申し込みの際に記載し、各試合ごとに携帯するのが望ましいがビブスでの対応も許可する。（背番号付きのビブス）
- ④ 選手登録用紙に記載された選手固有の番号をつけること。
- ⑤ 審判（黒色）と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。
- ⑥ インナーについては、チーム全員が同色であれば（ゴールキーパーは除く）、ユニフォームの色と同色でなくてもよい。
- ⑦ ユニフォームの番号は通し番号でなくてもよいこととする。

19 テクニカルエリア

- ① テクニカルエリアは設置しない。但し、監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から 注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退席処分とし、それ以降のベンチからのコーチングは不可とする。
- ② ベンチに入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- ③ その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

20 審判員 予選リーグ、決勝リーグは3人審判制で行う。

21 試合時間

- ① 試合時間は前・試合時間は40分（前後半各20分）とする。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則10分間（天候の状況により当日の運営本部での監督会議により5分間でもよいものとする）
- ② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合：引き分けとする。

- ③ 暑熱下においては、前・後半中程に飲水タイムを当日採用するかを運営本部での監督会議で協議を行い実施する、天候が急転した場合途中での審判、当該チーム監督での協議で取り入れてもよい（休息ではない。）

22 警告・退場

- ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ② 本大会の異なる試合において2度警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。予選リーグでの警告は決勝ラウンドに持ちこさない。
- ③ 本大会において退場を命じられた競技者、チーム関係者は次の1試合に出場できない。4種委員長、大会運営担当4種副委員長、大会担当チーム、4種委員長から委託された2級以上の資格を持つ審判が協議し、函館地区サッカー協会規律委員長へ報告する。
- ④ 函館地区サッカー協会規律委員会の決定を受け、各チーム及び選手へ決定を伝え、決定事項を執行する。
- ⑤ 本大会の懲罰については、道南ブロック大会に持ち越さない、ただし、予選終了時に残存した出場停止処分については、適用される。

23 開会式 行わない。

24 閉会式 ベスト3のチームのみ参加

25 シード権 前年度トラック協会杯、チビリンピックベスト4にシード権を与える。

26 その他

- (ア)大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの出場を停止し、その後の対応については、4種委員長、大会運営担当4種副委員長、大会担当チーム、4種委員長から委託された2級以上の資格を持つ審判が協議、函館地区サッカー協会規律委員長へ報告する。その決定を当該チームおよび選手に伝え、決定事項を執行する。
- (イ)荒天、震災、雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断、中止することがあることを留意のこと。
- (ウ)選手の保護者。チーム関係者のマナーの遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、ゴミ(等)については、当該チームの責任とする。
- (エ)大会要項に規定されていない事項については、4種委員長、4種副委員長、大会担当者において協議のうえ決定する。
- (オ)本大会一部の試合にマッチウェルフェアオフィサーを配置する。

27 選手登録 別添ファイル（選手名簿）を※4月12日18：00まで期日厳守、Eメールにて大会担当川島までお願いします。

28 その他 試合結果はその日のうちに大会担当者まで連絡すること。

大会担当者 川島 政樹

メールアドレス morinokomorebi_m_m@yahoo.co.jp

携帯電話番号 080-1899-3096

29 参加料 前期5,000円 後期末定